慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	小瀬村誠治先生のススメ
Sub Title	We love Seiji Kosemura forever!
Author	土居, 志織(Doi, Shiori)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2021
Jtitle	教養論叢 (Kyoyo-ronso). No.142 (2021. 2) ,p.247- 253
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小屋逸樹先生・小瀬村誠治先生・ロバート・ギブソン先生退職記念特集号 エッセイ
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062752-00000142-0247

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

エッセイ

小瀬村誠治先生のススメ

土　居　志　織

【はじめに】

皆さんは小瀬村先生にどのようなイメージを持っていらっしゃるでしょうか？『かっこいいアスリート（本人談)』『見た目が若々しい，とても 60 代には見えない！（30 代でもまだいける。本人談)』このようなイメージでしょうか？　それとも，『いつもオヤジギャグを言っている』このようなイメージかもしれません。「10 歳は若く見えますよ！」と言われ喜んだのも束の間，60 代から 10 歳若くても 50 代じゃんか，と本気で落ち込む……そう，それが小瀬村先生です。このエッセイでは，ごく一部ではありますが，これまでの小瀬村先生とのエピソードを織り交ぜながら，その愛すべきお人柄をご紹介させていただきたいと思います。

【衝撃 !!　小瀬村先生との出会い】

私が初めて小瀬村先生にお会いしたのは，2015 年 12 月の採用面接で，それから 5 年間一緒にお仕事をさせていただいている。当時まだ大学院生だった私は，初めての面接でまったく要領がわからなかったので，とりあえず Google で「小瀬村誠治　慶應」と検索してみた。そこにはなぜかピチピチの短いウェ

第36回つくばマラソン

完走記録証

ナンバー　17229
種目　42.195km女子総合
氏名　土居　志織
記録　4時間57分26秒
ネットタイム(参考)　4時間56分03秒

通過タイム		ラップタイム	通過タイム		ラップタイム
5km	0:34:09	0:32:46	25km	2:46:15	0:25:07
10km	1:06:13	0:32:34	30km	3:18:10	0:32:25
15km	1:40:14	0:33:31	35km	3:59:44	0:41:04
20km	2:13:66	0:32:51	40km	4:39:19	0:39:35
中間	2:21:08				

あなたは第36回つくばマラソンにおいて
上記の記録で完走されました。
ここに完走記録証を送り
その栄誉を讃えます。
平成28年11月20日

第36回つくばマラソン
大会会長
つくば市長　五十嵐 立青

主催　つくば市　筑波大学　(一財)茨城陸上競技協会　読売新聞社
後援　茨城県　茨城県教育委員会　土浦市　(公財)茨城県体育協会　朝日新聞社
主管　(一財)茨城陸上競技協会

図 1）走る小瀬村先生と筆者のつくばマラソンの完走記録証。

走る小瀬村先生の写真を母に見せたところ「あらぁ，面白そうな人が上司でよかったじゃない」と言われた。

初めてのフルマラソンで完走するなんてすごいと思ってくださった方，フルマラソンはゴールしない限り家に帰れないので，最後の方は家に帰りたい一心で渋々走っていました…。

アでダッシュする男性が…。いやいや，まさかね，同姓同名の別人だよね～？と思いながらも，その動画を見進めていくと，そこには「慶應のインテリランナー」の紹介文。いったいどんな人⁉　めっちゃストイックで筋トレとかやらされたらどうしよう⁉　と思いながらも履歴書にはしっかりと「趣味：ランニング（目標：つくばマラソン完走)」とアピールしておいた。その効果があったのか，なかったのかは定かではないが，無事に採用され，2016 年 4 月から小瀬村先生との日吉キャンパスライフが始まった。趣味欄にランニングと書いたことなんてすっかり忘れていたある日，

小瀬村先生「土居さん，今年つくばマラソン出るの？」

（ギクっ。ランニングなんてまったくやってない…）

土居「え，えーっと…もう横浜に引っ越してきてしまったので…」

小瀬村先生「そっか～でも横浜マラソンもあるもんね」

土居「ハハハ・・・・・」

これはもう避けられない，と観念した私は結局つくばマラソンに出場し，な

んとか完走。それ以来小瀬村先生からの信頼も若干厚くなった気がしている。

【イギリス代表 vs 小瀬村先生 !?】

2019 年世界リレーの直前，日吉のグラウンドにはイギリスチームが練習に来ていた。さすがは世界の代表選手たち，ダビデ像のような圧巻の体躯に，ものすごいオーラで練習をされている。そんな中に，あれ？　ひとり小瀬村先生が混ざっているぞ…？　世界の代表選手たちにもまったく動じることなく淡々と練習し，そればかりか「Hello〜！」などと挨拶までしている。それだけでは飽き足らなかったのか，片手倒立で自らの筋肉までアピールしているではないか。しかもなぜか自信満々である。完全に理解不能だ。一体どういう心境なのだろうか…怖いもの知らずとはまさにこのことである。もちろん選手たちはこの謎のオジサンが Professor だということを知るよしもない。初めは訝しげな目で見るイギリス代表選手たちであったが，若いアスリートでも難しいのに（注：片手倒立は競走部の学生でも出来ない），片手倒立するオジサンがいる，と，いつしか選手の方から小瀬村先生に挨拶するようになっていた。なんだかよくわからないけれど，すごい。筋肉愛は世界共通ということか。

ちなみに，小瀬村先生の大胸筋は完全に見せ筋である。速く走るためにまったく必要ないのである。余談だが，筋トレアピール作戦は日頃の練習でも行っており，学生の前で 100 回連続腕立て伏せを見せつけている。

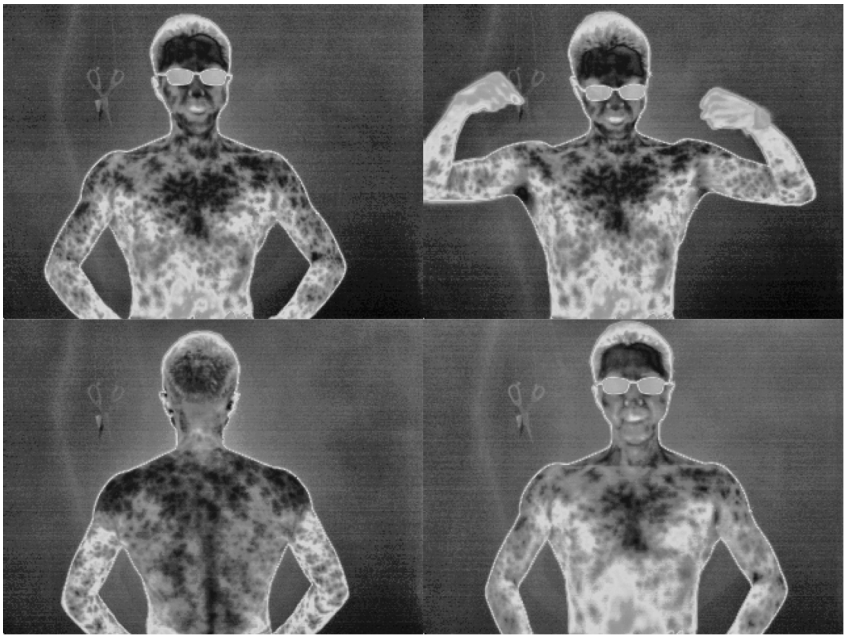

図 2）イギリス代表選手たちにも負けていない小瀬村先生。サーモグラフィーで撮影した小瀬村先生の肉体美。

【レイちゃん】

小瀬村先生といえば，日焼けした肌に筋肉質なボディ，タイトなシャツに細身のパンツ，鋭いサングラスがトレードマークで，一見強面のような印象だが，実は「可愛い」が大好きだ。好きな犬は白くてふわっふわのマルチーズ。以前，「レイちゃん」というマルチーズを飼われていたそうで，レイちゃんは毎晩小瀬村先生と一緒に寝ていたらしい。え？ 小瀬村先生にマルチーズ…？と疑問を感じたのは私だけだろうか。「犬は絶対マルチーズが一番可愛いヨォ」と譲らない小瀬村先生だが，他犬種の可愛い子犬動画を見せると明らかに顔が緩んでいる。そればかりか最近は猫にもハマり，キャンパス内に出没する野良猫に「ミャ〜ァ」と話しかけている。まったく，「可愛い」に見境がない。私も撫でたいのに，自分ばかり先に撫でておいて「土居さん，なんで触らない

の？」などと聞いてくる。

学生時代の講義で「可愛い」の定義を教わったことを思い出した。(1) 小さく丸まっこく，(2) つぶらな瞳で，(3) 鼻にかかった声でクゥ〜ン。やっぱり可愛いは最強だ。

図 3) レイちゃん。うん，可愛い。

【ある日のメール】

誰にでも泣きたい日はありますよね。でもその時は私って悲劇のヒロイン，世界で一番不幸，そんな境地になるくらい辛い。一時私は，研究や人間関係で悩んでいたことがあり，毎日ズーーーンとした気持ちで過ごしていた。人前で暗い態度を出すのは嫌だし，それに，小瀬村先生は私を採用してくださった方だから，どんなに辛くても迷惑をかけちゃいけない，笑顔でいなきゃいけない，そう思っていたのだけれど，「まぁ実験内容の相談くらいならイイか」と思い，その時行き詰まっていた実験について質問してみた。よくあることだが，相談しているうちにだんだんといろんなことを思い出してきて…でも，我慢，我慢‼　なのに，不覚にも涙が溢れ出てしまった…。今までずっと元気な笑顔で接し続けていたのに。ついにやってしまった。「面倒くさい部下，ダメな部下と思われたかも」と落ち込んでいたその夜，小瀬村先生からメールが届いた。

“土居さんと一緒の授業は楽しくて，気がつくと腹筋が痛くなっているほどです。

今日はいつも明るい土居さんの，人には見せないであろう一面を見て，気が引き締まりました。ストレスをため込まないで，時には発散してください

ね。

しっかり受け止めてあげますよ。（もっと筋トレしなくっちゃ。）

小瀬村応援団長”

そして次のメールでは，

“今日までで腹筋 128,841 回です。なぜ，端数が生じるかは明日のお楽しみ。

明日また土居さんの笑顔を楽しみにしている小瀬村”

ぽろっ。また涙が溢れてきちゃった。やっと乾いたところだったのに。でもさっきまでの涙とは違う。

ディスカッション時に熱くなり反抗的な態度をとっても小瀬村先生はしっかりと受け止めてくださり，また時には喧嘩のようになりながらも，何度もディスカッションを重ねることで，研究者として，人として大切なことをたくさん教えてくださった。「もっと早くに出会って一緒に研究したかったな」本当に何度もそう思った。

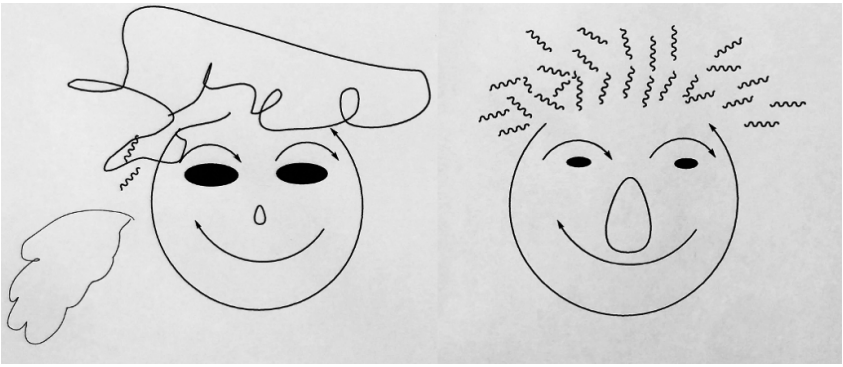

図 4）私がピリピリしていた時に和ませようと化学構造式描画ソフトで描いてくださった似顔絵。天然パーマの髪型まで忠実に再現されている !?

ちなみにその年のトータル腹筋回数は 137,041 回だったそうだ。137,041 回／365 日 = 375.45.. 回／日ですね（驚き！）。で，結局腹筋回数に端数が出る理由はなんなんだ⁉　それは今度お会いした時のお楽しみ。

【終わりに】

皆さんいかがでしょう？　ストイックでカッコ良くて，でもユーモアがあって可愛くて優しくて，そんないろんな面を持ったチャーミングな小瀬村先生ともっとお話しておけばよかった…と思った方，話したことないけれどお話してみればよかった…と思った方，もうお会いすることはできない…と後悔している方，いえいえそんなことはありません！　日吉のグラウンドに行けばまたこれからもいつでもお会いすることができます。来年度からもグラウンドで練習しているカッコイイ姿をきっと見られると思います。ぜひ，そんな小瀬村先生の姿を見にいらしてください。

“60 歳や 70 歳の高齢者になったからといって「挑戦することを諦める必要はまったくない」のである”（エンジョイ・エイジング －人はいつまで走れるか－ 小瀬村誠治 著 「教養論叢」No.136 より）

いつまでも目標を持ち，それに向かって努力し続けることはそうそうできることではありません。その真摯でストイックな姿に，「よし，私も目標に向かって頑張ろう！」そんな気持ちになれると思います。そして何より，カッコイイ姿を見てもらえると小瀬村先生が俄然やる気を出します。

小瀬村誠治先生，私の初めての上司になってくださり本当にありがとうございました。

これからも一緒に走りましょう。

よかったら皆さんもご一緒に！　Let’s Enjoy Aging!